

ダライラマの素顔

永坂嘉光

1950年中華人民共和国の人民解放軍がチベットを制圧し、その後、チベット動乱後にインドのダラムサラに亡命したダライラマ14世は亡命政府を樹立し同政府の長として長く活動を続けている。

1989年には世界平和やチベット宗教、文化の普及に対する貢献が高く評価されノーベル平和賞を受賞した。その後も様々な世界平和活動の為に密教儀式の開催や講演で活動を行っている。

私はダライラマがチベット密教で最高の儀式と言われる、カーラチャクラの灌頂の儀式を釈迦悟りの地で有名なブッダガヤで開催した折り、撮影しながらダライラマの願いを識った様

であった。

カーラチャクラの灌頂は多くの大衆に授ける事が出来る儀式とあるので、実に40万名と言う世界の方々がブッダガヤに押し寄せたのである。

元旦の早朝から午後まで約一週間開催されたが、40万名の人々が動く中で撮影をするには、夜中に出かけないとダライラマ14世を撮影する事は困難であったが、連日出かけて撮影を続行する事が出来た。

ダライラマ14世が実に世界の多くの方々に慕われているかを、ブッダガヤの撮影で再認識したのである。



寺院の屋上にはダライラマの映像が中継で写し出されていた。

2013.1.1



会場に入れなかった人々は広場で世を明かしながら、
ダライラマの話聞く。

2013.1.2



チベットの若僧達はここに集結し勉強する

2013.1.2



40万多名も訪れた方々に接待の水等を急いで配る

2013.1.4



ダライラマの法話

2013.1.4



曼荼羅が出来上がり、祝いのダンス/(ラマ僧による)

2013.1.3



聖なる水を分けるチベット僧

2013.1.3



会場内は外国人も沢山参加していた。

2013.1.5

